

平成 22 年度当初予算 施策別概要

222 農林水産資源の高付加価値化

(主担当部：農水商工部)

22201 地産地消・食育の推進 (農水商工部)

22202 農林水産資源のブランド化の推進

(農水商工部)

< 施策の目的 >

(対象) 県内外の消費者が

(意図) 付加価値の高い県産農林水産物を認知しているとともに、その提供を受けている

< 施策の数値目標 >

施策目標項目 (主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
「三重ブランド」として認定された農林水産品目の認定事業者数	目標値	-	40 事業者	42 事業者	42 業者	43 事業者
	実績値	39 事業者	42 事業者	42 事業者		

ブランド化された農林水産品目の認定事業者数(三重ブランド認定委員会の審議を経て知事が認定したもの)

県の取組目標項目 (副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
県内産品を意識的に購入する人の割合	目標値	-	38.0%	42.0%	48.0%	50.0%
	実績値	34.0%	42.0%	37.0%		
「三重ブランド」として認定された農林水産品目数	目標値	-	10 品目	11 品目	11 品目	12 品目
	実績値	9 品目	11 品目	11 品目		
「三重ブランド」ホームページアクセス数	目標値	-	18,500 件	20,000 件	20,000 件	20,000 件
	実績値	18,016 件	20,150 件	19,119 件		

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・ 農林水産物の高付加価値化を戦略的に展開する取組や、地域資源について商品化に向けた取組等を支援しています。また、全国に通じる高い商品力を持った農林水産物や加工品、それらを生産しようとする意欲的な事業者を「三重ブランド」として認定し、県内外に情報発信するとともに、首都圏において展示会出展やイベント開催を通じた県産農林水産物等の普及拡大・販路開拓を促進するほか、卸機能を有する民設民営の流通拠点整備に取り組んでいます。
- ・ 地産地消及び食育に関する情報発信や実践活動を支援するとともに、学校給食等への地域食材導入の推進、6次産業化や生産者と事業者のマッチングに関する支援、「みえの安心食材」等の普及拡大、トレーサビリティなどの生産現場の見える化を促進しています。さらに、食品製造事業者の信頼向上に向けた自主的な取組を促進しています。
- ・ 地産地消の認知度等の向上に伴い、「みえの安心食材」等に対する流通事業者等からの評価は高まっていますが、生産の拡大が課題となっています。
- ・ 景気悪化等の影響により、消費者が食の安全・安心よりも価格の安さを重視する傾向が見られることから、商品化やブランド化に向けた事業者の自主的な取組への支援を一層強化していくとともに、地産地消や食育に取り組む多様な主体への働きかけを強化して、食の安全の確保や県産食材等

に対する理解を促進していく必要があります。

- ・ 地域の需要に応じた安全・安心で魅力ある県内製品の安定的供給や、食品製造事業者等の信頼向上に向けた自主的な取組への支援とともに、地産地消に基づく積極的な購買行動が促進されるしくみを検討していく必要があります。

<平成22年度の取組方向>

県内事業者のブランド化に向けた努力を適正に評価し、モデル的な取組を三重ブランドとして積極的に情報発信するとともに、商品化・ブランド化に取り組む人材の育成を進めます。また、その素材となる地域資源について調査・評価し、広く情報発信するなど、事業者の6次産業化や農工商連携などの高付加価値化の実践に対して支援を行います。

地産地消運動を一層定着させるため、県民が県産食材にふれる機会を増加させる環境づくりに取り組むとともに、地産地消や食育に関する情報提供や、地域の特色に応じた地産地消運動の実践への支援、学校給食における地域食材の活用促進をはじめとした食育の推進に取り組めます。

県産食材を使用した農業者や食品関連事業者の主体的な商品開発や販路拡大等の取組を支援するとともに、「みえ地物一番」と連動した県産加工食品に対する表示制度の検討を行います。

食に関する信頼を高めるため、食品製造事業者等のコンプライアンスや品質管理の徹底など経営品質向上活動をはじめとした自主的な取組を促進するとともに、県民への食の安全に関する情報や学習の場の提供、啓発事業に取り組めます。

県民の積極的な購買行動につながるよう、県内の旬の食材に関する情報や、トレーサビリティなど生産現場の状況等をわかりやすく伝える地産地消コミュニケーション手法の検討を進めます。

平成21年3月に策定した「みえの安全・安心農業生産推進方針」に基づき、「みえの安心食材」等を地域のニーズに応じて供給する多品目適量産地の育成に取り組めます。

首都圏等において、卸機能を有する流通拠点や展示会、イベントなどの機会を通じて、観光誘客の取組とも連携させながら県産品の情報発信や販路拡大をはかるなど、地域産品の振興につながる新たなしくみづくりに取り組めます。

<主な事業>

(重) 地域資源ブランド化支援事業【基本事業名：22202 農林水産資源のブランド化の推進】

予算額：(21) 65,309千円 (22) 58,785千円

事業概要：地域に埋もれている農林水産物を調査・再評価し、新たなビジネスシーズとして情報発信するとともに、地域資源を活用し、高付加価値化を戦略的に展開する人材を育成します。また、ブランド化に成功した県産品及び事業者を「三重ブランド」として認定するとともに県内外に情報発信します。

(舞) 地産地消・地域連携創造支援事業【基本事業名：22201 地産地消・食育の推進】

予算額：(21) 37,189千円 (22) 38,812千円

事業概要：地産地消・食育情報の提供を行うとともに、多様な主体が連携して取り組む地域実践活動に対して支援します。また、地産地消を推進する施設整備や団体の食育活動を支援するとともに、学校給食への地域食材の導入を通じた食育の推進をはかります。

(舞)「みえの食」魅力づくり応援事業【基本事業名：22201 地産地消・食育の推進】

予算額：(21) 11,324千円 (22) 11,166千円

事業概要：魅力ある食材の開発や提供に取り組む意欲ある事業者を対象に、アドバイザー派遣や事業者間のマッチング支援などを行います。また、地域の生産物を通じた生産者と事業者の連携を促進します。さらに、県内の加工食品の販売を促進するため、「みえ地物一番」と連動した県産加工食品に対する表示制度の検討を行います。

(舞) みえの食・安心安全確立推進事業【基本事業名：22201 地産地消・食育の推進】

予算額：(21) 18,561千円 (22) 15,831千円

事業概要：安全・安心で環境に配慮した持続的な農業を進めるため、「みえの安心食材」や「地域特産品（Eマーク）認証食品」の普及拡大をはかります。あわせて、食の信頼確保に向けた食品事業者等による自主的取組を促進するため、トップセミナーの開催や事業者相談等の支援を行います。

(舞) 多品目適量産地育成事業【基本事業名：22201 地産地消・食育の推進】

予算額：(21) 10,018千円 (22) 11,100千円

事業概要：地産地消と連携した安全で安心な農産物の生産を促進するため、生産品目の拡大やGAP手法の導入、販売体制の整備など、消費者ニーズに対応した地域密着型の多品目適量産地の育成に向けた取組を支援します。

(新)(舞) 地産地消購買促進ふるさと雇用再生事業【基本事業名：22201 地産地消・食育の推進】

予算額：(21) - 千円 (22) 18,481千円

事業概要：県民の県産農林水産物に対する購買行動を促進し、生産者の生産意欲増進につなげることをねらいに、「みえ地物一番」協力店舗等の参加を得て安全・安心情報や生産情報等の県産品の魅力や価値を、直接または間接に消費者に伝えるためのコミュニケーション手法を導入したビジネスモデルづくりに向けて取り組みます。

(一部新)(重) 首都圏・海外市場開拓支援事業

【基本事業名：22202 農林水産資源のブランド化の推進】

予算額：(21) 32,528千円 (22) 27,615千円

事業概要：首都圏に三重県産品市場開拓スーパーバイザーを配置して、マッチング支援や高付加価値化支援に取り組むとともに、展示商談会への出展などを通じた県産農林水産物等の首都圏等での市場開拓や、海外市場開拓に向けた取組を進めます。また、流通拠点を活用し、首都圏における県産品の普及拡大や観光情報の発信に取り組みます。